

月刊

あなたにこの本を！

平成 29 年

10

月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。



…字が大きめ



…中高生にも



…図・写真が多い

※価格のあとの()内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。



ちいさい言語学者の冒険

—子どもに学ぶことばの秘密—

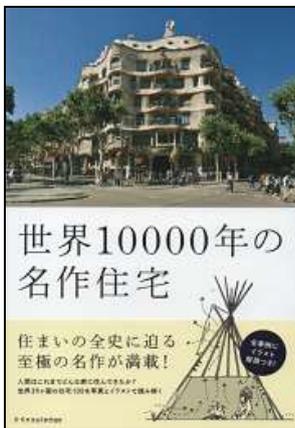
広瀬友紀 著

岩波書店 1200 円

(0014276993)

ジャンル：知識・教養を深める

「さかな」を「さなか」というなどの、子どもたちのかわいらしい言い間違いは、決して間違いではなく、彼らなりのルールに基づくものらしい。言語学者である著者は、子どもたちの様々な言い間違いを紹介し、彼らは単に大人の真似をするのではなく、手に入れた情報を彼らなりに法則化することで、言葉を使いこなせるようになっていくのだと解説する。親子のやり取りや子どもたちの言葉の冒険を楽しみながら、人が言葉を学ぶ過程をたどることができる。[801.04]



世界 10000 年の名作住宅

= Houses across the world since 10000 years ago



エクスナレッジ 1800 円

(0014275405)

ジャンル：暮らしにうおいを

紀元前のほら穴や、ル・コルビュジエの現代建築など、紀元前 8000 年から現代までの 100 の住居を見開きごとに紹介する。イタリアの「ヴィラ・ロトンダ」は周囲の眺めを楽しめるように四方に玄関が設けられているなど、写真だけでは気づかない建物の工夫をイラストと解説が補ってくれる。人々の、住居に対する昔からの深い関心が伝わってくるとともに、関連項目や巻末の索引で関わりのある建築を調べることができるなど、建築学の入門書としてもおすすめです。[527.02]



日本の助数詞に親しむ —数える言葉の奥深さ—

飯田朝子 著

東邦出版 1400 円

(0014187422)

ジャンル：知識・教養を深める

昔のたんすは、上部に付いた輪に竹ざおを通して運んだため、一竿(ひとさお)と数え、警察犬などの働く犬は、匹ではなく頭で数える。ものを数えるとき、数の後ろに付いて、そのものの様子や役割を表す語を助数詞という。本書は、言語学者の著者が、人や動物などのテーマごとに助数詞の種類や由来を平易な文章で紹介したものだ。ものの形や大きさ、文脈によって何気なく使い分けている助数詞が、豊かな日本語の表現を生み出していることに気づかされる。[815]

あそびの生まれる場所 —「お客様」時代の公共マネジメント—

西川 正 著
ころから 1800 円
(0014286940)

ジャンル：子どもの成長のために

保育の場で、近年の保護者は「お客様」となり、子どもの遊びについての不安を苦情として伝えるため、遊びが減っている。学童保育所運営などを通して地域に関わっている著者が、父親どうし仲間となって企画し、地域に参加を呼びかけて焼き芋をするなど、保護者が参加する遊びの場を紹介する。保護者たちが不安を分かち合い、解決のために知恵を持ち寄ることで、子どもの自由な遊びを生み出せるという提案が新鮮で、地域での子育てを考えるきっかけになる。〔318.8〕

スマホ廃人

石川結貴 著
文藝春秋 740 円
(0014294964)

ジャンル：現代社会を見つめる

スマートフォンは極めて便利で、日常に欠かせない機能を持っている。しかし本書で語られるのは、子育てアプリに熱中して子どものことを後回しにしてしまう母親や、SNS で良い子を演じるあまり現実の人間関係に追い詰められる中高生などの姿だ。その強い中毒性のため、止められないまま日常生活が崩壊する「スマホ廃人」の危険性が、豊富な取材をもとに述べられる。一部のネット依存者や子ども達だけの問題ではないと、社会全体に警鐘を鳴らしている。〔549.802〕

奨学金が日本を減ぼす

大内裕和 著
朝日新聞出版 780 円
(0014253194)

ジャンル：現代社会を見つめる

「ブラックバイト」の名づけ親であり、若年層の貧困や教育問題を研究する著者が奨学金の問題を解説する。学費の上昇、世帯収入の減少などにより、奨学金に頼らざるをえない学生が増えているが、雇用条件の悪化で返済が経済的負担になっており、結婚や出産、子育てなどに悪影響を及ぼしている。本書は問題の解決のために給付型奨学金の拡大など、奨学金制度の見直しの必要性を指摘する。奨学金制度の問題の深刻さをさまざまな角度から掘り下げる一冊。〔373〕

大阪市立図書館では、図書館で受け入れた一般成人向け新刊図書から、「あなたにこの本を！」選定委員会で推せんする図書を選び、「月刊あなたにこの本を！」を発行しています。生涯学習に役立つよう、また、多くの人々に読書に親しんでいただけるよう、幅広い視点で図書を選んでいきます。

バックナンバーは大阪市立図書館ホームページ「あなたにこの本を！」でご覧いただけます。
大阪市立図書館ホームページ <http://www.oml.city.osaka.lg.jp/>